

	課題分析	授業改善策
国語	<p>【知識・技能】</p> <p>○児童・生徒の学力向上を図るための調査から、漢字や熟語について、部首や意味を確かめ、考えながら覚えたりしているという質問に対し、肯定的に答えている生徒が全体の半数に満たない割合であった。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○児童・生徒の学力向上を図るための調査から、自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている、という質問に対し、肯定的に答えている生徒が49.1%という割合であった。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○漢字や熟語の言語事項の学習において、じっくり繰り返し練習する前に、意味や音の共通点などを考える時間を設ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○自身との対話、教科書との対話、他者との対話の時間をしっかりと確保した授業を展開する。その上で自身の考えを伝えたり、他者の考えと比較したりし、はじめの自分との変容を振り返らせ、まとめ学習としてアウトプットする時間を必ず設定する。</p>
社会	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期考査の結果から基本的な知識の定着に大きな差が見られ、生徒調査からも否定的な意見が20%前後みられる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○学習内容をまとめる活動では、自分の考えを表現することや学習内容を結び付けて、価値を見いだすなど考察することが苦手である。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○基礎・基本問題を設定し、苦手意識をもつ生徒が達成感を得られるよう、単元テストの問題を構成し、生徒が完答することができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○単元のまとめ学習で「自分たちの問題」として考えられるような探究的な課題を設定する。</p> <p>○単元の導入で自分たちから考えたいくなるような身近な話題をできる限り設定する。</p>
数学	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期考査や全国学力・学習状況調査の結果から基本的な知識の定着に大きな差が見られる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○児童・生徒の学力向上を図るための調査から、文章問題において途中式を書く肯定的回答が全国平均と比べて0.9ポイントの課題がある。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○計算問題の練習をするとともに、基本的なことを丁寧に指導する時間を設定する。また、計算の工夫や解き方を共有できるよう集団で共有できる時間を設定する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○情報を整理するための手段として、図や表をかくことの重要性を実感させる。定期考査や単元テストでも途中式を書かせるような問題を設定する。</p>
理科	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期考査の結果から知識や技能の定着状況に大きな差が見られる。難易度を易しくした場合、結果が二極化することが多いので、達成度が低い生徒には基本の定着への取り組みが必要にある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○実験・観察は楽しそうに行うが、実験結果から考察することが苦手な生徒が多い。実験結果をどのように使うか理解するためにある程度の時間が必要である。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期的に小テストを実施し、生徒の達成度の把握に努め、授業内容に反映させる。また、学習の記録をタブレットで管理する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○実験前にその目的や手順を確認し、実験中に注目すべきポイントを分かった上で実験させる。考察すべきことを曖昧にするのではなく、具体的に、また焦点化することで苦手な生徒も書くことができるようにする。</p>

音楽	<p>【知識・技能】</p> <p>○授業の様子や歌唱テストの成績から、発声、発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている生徒が少ない。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○音楽的要素や曲の背景と結び付けて考えたり、それを表現したりする力に課題がある。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○基本的な発声法や響きを感じ取る指導を継続的に行うとともに、教材や授業展開を工夫し、動機付けを高める機会をより多く設定する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○協働学習を行ったり、ワークシートと発問を工夫したりして、音楽から感受したことを言葉で適切に表現できるように指導する。</p>
美術	<p>【知識・技能】</p> <p>○授業中の様子から半数以上の生徒が道具の基礎的・基本的な技能が身に付いていない。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○授業中の様子から結果から自分の作りたい作品のイメージを形にすることが苦手な生徒が多く見受けられる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○タブレットを用いて道具の使い方、技法を伝える。作品を拡大し、作者の細かなタッチを読み取れるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○動機付けに重点を置く。学年で優秀作品を参考作品として掲示しイメージの具現化の事例を紹介する。</p>
保健体育	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○生徒一人一人が課題意識をもって取り組むことができているが、課題解決に向けた具体的な行動をとることができる生徒は少ない。課題に取り組む行動力の育成が課題である。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○何度も繰り返して練習をしたり、仲間と協力してグループ学習をしたりすることはほとんどの生徒ができるが、課題を解決するための質がまだ低い。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>○どんな練習が課題解決に効果的かのヒントを多く提供し、それを選択する段階を取り入れることで、考えることが苦手な生徒も取り組みやすいようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○上記に示した工夫をするとともに、主体的に取り組んでいるよい例を提示し参考にできるようにすることで、活動量だけでなく、活動の質を高めさせる。</p>
技術・家庭	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期考査、授業の様子から基礎的、基本的な知識・技能が定着していない生徒がみられる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○実習では、意欲的に取り組む生徒が多い。自分の実生活に関連付けて深く考え、解決をするという点においてはまだ至っていない。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○授業の導入では前時の振り返りを行い、スモールステップで学習内容の定着を図る。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○グループでの話し合いの時間を設け、課題解決型の授業を展開していく。</p>
外国語(英語)	<p>【知識・技能】</p> <p>○定期考査・単元テストなどから基礎的な文法事項を学ぶ意欲は見られる。スペリングコンテストや単元テストから学年が上がるにつれて学力が二極化する傾向がある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○単元ごとの文法は理解しているが、状況に応じて適切な英文を判断して使う力が弱い。間違いを恐れ、自分の考えを広げていく力があまりない。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○暗記だけではなく、何度も繰り返し指導することによって定着する力をつける。</p> <p>○前に戻って復習を何度も行う。定着できない生徒には時間をかけて指導していく。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○帯活動やパフォーマンス活動を毎時間行うことによって、状況に応じて適切な英文を判断して使える力を身につける。</p>